

女性技術者増やす視点探る

大豊建設は21、22の両日、女性技術者9人が参加した。名古屋支店管内で施工中の現場を訪問した。「女性技術者が増やすためには何か必要か」をテーマに意見交換も実施した。



現場の施工状況を見学

研修はこととして2回目となる。参加者の知識や技術力の向上、女性技術者同士の親睦を深めることが狙い。女性特有の視点で現場を見てもいい、職場環境の改善や今後の採用活動につなげる。

「伊勢湾岸自動

4現場を訪問 知識深める

大豊建設 名古屋管内で9人が研修

車道飛鳥高架橋他1橋耐震補強工事」の現場では、山崎友康所長から工事概要の説明を受け、現場の様子や同工事で採用している中間貫通鋼材工の施工状況などを見学した。

同工事は伊勢湾岸自動車道の飛鳥高架橋と飛鳥ICランプ橋のさらなる耐震補強として、連続繊維シート巻き立て工や鉄筋コンクリート巻き立て工などを実施している。発注者はNEXCO中日本名古屋支社。大豊建設・森本組JVが施工している。

山崎所長は「高速道路の耐震補強工事は今後も多くの発注が見込まれ、皆さんも携わる可能性がある。今回の見学がその際の参考になるといい」と話した。現場の状況については「起点の東側は十分な作業スペースを確保しているため工

事がしやすい。一方、JCT付近は施工箇所と車道が近接するなど課題も多い。十分な検討をした上で施工する」と説明した。

見学後、参加者は「スケールの大きな現場で大変勉強になった」「過去に経験したことがある工種の現場を見学したが、別のやり方もあり参考になった」と感想を述べた。入社1年目の参加者は「入社時の研修で現場を見た際に分からなかったことが、現場経験を経て理解できるようになった」と語った。

同工事の施工箇所は名古屋港区金城ふ頭(名港中央IC)と愛知県弥富市上野町(湾岸弥富IC)間の約2.5km。工期は2021年7月16日から23年9月3日まで。ことし1月に工事着手し、現在の進捗率は約22%となっている。

